

DVの種類

身体的暴力

殴る、蹴る、物を投げ付ける、髪を引っ張る、首を絞める、刃物を突き付ける、外に締め出すなど

精神的暴力

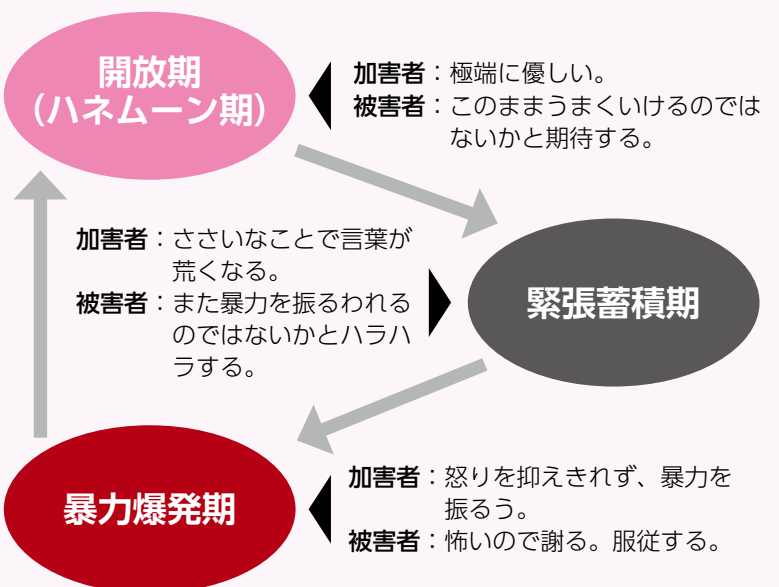
大声で怒鳴る、人前でものをしる、外出を制限する、行動を監視する、交友関係や通話を監視する、別れるなら死んでやると言うなど

性的暴力

性行為の強要、避妊に非協力的、無理やりポルノビデオや雑誌を見せるなど

経済的暴力

生活費を渡さない、ギャンブルで浪費する、借金をさせる、収入や財産について何も教えない、外で働くな・仕事を辞めろと言うなど



DVのサイクル

DVには一定のサイクルがあり、暴力と優しさが繰り返し現れるとされています。

被害を受けていると誰にも言えないと

市には年間10件前後の相談が寄せられています。DV担当の福祉課松下輝彦係長は「市への相談件数は氷山の一角に過ぎません。被害に遭っていても、なかなか相談できない現実があります。どんな人でも今までの生活に愛着があります。子どもの生活環境が変わることに不安を感じることもありませう。他にも、世間体、経済的な基盤を失うことへの不安などを考えると、被害を受けていてもなかなか言い出せないものなんです」

子どもまで傷つくDV迷わず相談してほしい

「DVは、自分だけではなく、それを見た子どもにも悪影響を及ぼします。心に深い傷を負い、情緒不安定になったり、人間関係が築けなくなったりします。どんな理由があっても暴力はい

けません。少しでもDV被害で苦しんでいれば相談してもらいたいです。男性にもDVとは何か知っていただき、ご自身の行動を見つめ直してもらえたらと思います」と呼び掛けます。

批判より励まし突き放すより共感

身近で起こっているDV。その被害に悩んでいる人に私たちはどう関わることができのでしょうか。

「DV被害を受けている人から相談を受けることがあるかもしれませんが『どちらが悪いから』とか『我慢するしかない』といった言葉は避けてもらえたらと思います。被害を受けている人は、身体的、精神的に追い詰められており、張りつめた糸のような精神状態です。『あなたは一人じゃないから大丈夫』『市役所に相談してみよう』といった言葉をかけてあげてほしいと思います」

「一人で苦しまないで、あなたは一人じゃない」
あなたを助ける窓口があります。



福祉課生活支援係
松下輝彦係長

相談窓口

下記の窓口で相談を受け付けています。一人で悩まず、あなたの悩みをお聞かせください。相談時には、あなたの訴えに耳を傾け、法的な制度や必要な手続きをお伝えします。必要な場合には、関係機関や、窓口へつなぐお手伝いもします。

女性のための生活支援窓口(静岡県西部健康福祉センター) ☎0538(33)9217

御前崎市福祉課生活支援係 ☎0537(05)1121